



2017年（平成29年）12月11日

## 相鉄・JR直通線

はざわよこはまこくだい

## 新駅名称を「羽沢横浜国大」駅に

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道㈱（本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之）では、神奈川東部方面線事業のうち、相鉄・JR直通線で新設される羽沢駅（仮称）の名称を「羽沢横浜国大」駅とし、今後、都市鉄道等利便増進法に基づき、関係自治体との協議等の手続きを行います。※

相鉄・JR直通線〔2019年度（平成31年度）下期開業予定〕は、相鉄本線 西谷駅からJR東海道貨物線 横浜羽沢駅（貨物駅）付近間に連絡線（約2.7km）を新設し、この連絡線を利用して相鉄線とJR線が相互直通運転を行うものです。この直通線開業に合わせて、同駅は横浜市神奈川区羽沢南二丁目に新設されます。

また、駅舎のデザインは、相鉄グループが取り組む「デザインブランドアッププロジェクト」に基づき、キーマテリアルである「鉄」・「レンガ」・「ガラス」などを用いてデザイン性を向上させると共に、キーカラーである「ダークグレー」を使う事で案内サイン等の視認性向上を図ります。ホームには、身体の不自由なお客さまはもとより、ご高齢のお客さまやお子さま連れのご家族にも安心してご利用いただけるようホームドアが整備されます。

2022年度（平成34年度）下期（予定）には、同駅から新横浜を經由して、東急東横線・目黒線 日吉駅（横浜市港北区）までの相鉄・東急直通線（約10.0km）が完成し、東急線とも相互直通運転が開始されることになり、乗換回数の減少、相鉄線沿線から東京都心部までの速達性向上、新幹線駅アクセスの向上等が図られます。

概要は、別紙のとおりです。



時間の経過と共に醸成するデザイン「羽沢横浜国大」駅の外観（左）と内観（右）（イメージ）

※ 神奈川東部方面線事業（相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線）は、都市鉄道等利便増進法に基づき、国、神奈川県および横浜市の支援を受けて、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構が整備を行っている事業です。駅名は、整備主体の(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構と営業主体の相模鉄道㈱および東急電鉄㈱が同法に基づき神奈川県および横浜市に協議を行い、同意を得たうえで国の認定を受けて正式に決定します。

## 「羽沢横浜国大」駅の概要

- |              |  |
|--------------|--|
| 1. 名 称       | 羽沢横浜国大 (はざわよこはまこくだい)   |
| 2. 駅名選定理由    | 同駅の主な利用者として、羽沢地区にお住まいの方および南東に位置する横浜国立大学の関係者を想定しており、駅利用を想定している皆さまからのご意見等を伺いながら検討を重ねた結果、今後、地域・大学の皆さまとともに、沿線価値の向上を目指していくという想いを込め、町名である「羽沢」と当駅周辺に立地する「横浜国大」を併記するこの駅名を選定しました。 |
| 3. 所在地       | 神奈川県横浜市神奈川区羽沢南二丁目  |
| 4. 駅ナンバリング   | S O 5 1  |
| 5. 駅 構 造     | 相対式2面2線  |
| 6. 駅 設 備     | 改札口1カ所、エレベーター2基、エスカレーター4基、ホームドア1式  |
| 7. デザインコンセプト | 安全×安心×エレガント  |
| 8. そ の 他     | 運行ダイヤなどの詳細は決まり次第公表します。   |

### 神奈川東部方面線（相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線）完成路線図



#### 「デザインブランドアッププロジェクト」とは・・・

デザインの総合監修を「くまモン」の生みの親で、クリエイティブディレクターの水野学氏（グッドデザインカンパニー代表）、空間プロデューサーの洪恒夫氏（株丹青社）に依頼し、お客様との最大の接点となる駅舎や車両、制服などを統一したデザインコンセプトに基づきリニューアルを進め、認知度や好感度を高めることで「選ばれる沿線」の実現を目指す取り組み。

公式ウェブサイト (<http://www.sotetsu.co.jp/design-pj/>)

#### 「SOTETSUあしたをつくるPROJECT」とは・・・

相鉄グループ創立100周年とその先の都心直通運転に向けて、沿線内外の方にもっと相鉄グループのことを知っていただき、もっと親しみを感じていただくためにグループ各社や沿線事業者、沿線住民を巻き込んで、「住みやすい沿線になるための活動」と「JR線・東急線相互直通運転のメリット」等を発信していく取り組み。

公式ウェブサイト (<http://www.ashita-tsukuru.jp>)